教育目標　○進んで学ぶ子　○助け合う子　○体をきたえる子

東綾瀬小だより

夏休み前号
令和３年７月２０日
足立区立東綾瀬小学校　http://www.adachi.ed.jp/adahia/　校長　木村浩嗣

子供たちの学びの力を高めるために

明日からいよいよ夏休みに入ります。東京でのオリンピック・パラリンピック大会を目の前に控え、その一方で、感染症予防対策を続けながらご家庭で過ごす特別な夏・・・。ぜひ健康に留意しながらも、有意義な毎日を過ごしていただきたいと思います。今号では、そんな夏休みを利用して、少しでも子供たちの学びの力を高めるための手立てについて、いくつか記してみました。ぜひ各ご家庭でご参考にしていただければと思います。

1　学習するための時間と場所を決めましょう

まずは環境づくりを大切にしましょう。「リビングで学習しないと落ち着かない」「親がついていないと心配…。」等の場合は、お家の方がそばについて学習させてもOKです。大切なのは「毎日決まった時間と場所で学習をする」という習慣を付けさせることです。これは中学校、高校にもつながります。

2　子供との信頼関係を高めましょう

親が子供の勉強を見てあげる際、まず大切となるのが「信頼関係」です。これは教師と児童の関係にも言えることです。この信頼関係がなければ、子供は素直に分からない部分を「分からない」とは言えません。「ここが分からない」「どうしても理解できない」と親や教師に自然に言える子は、学力はどんどん伸びていきます。

3　ではその信頼関係を築くには？

子供たちの何気ない疑問にも、誠実に向き合いましょう。世の中には正解のない問題もたくさんあります。子供たちが大人になった時、一方向からのものの見方、考え方だけではなく、多面的・多角的に物事を捉えられるようにしてあげましょう。問題の答えは○か×か、AかBかだけではありません。誤答を叱るのではなく、子供がどのように考えて解答に至ったのかというプロセスをきちんと見て、それも評価してあげることが大切です。

4　集中力が続かない・・・

集中できる時間は大人でも50分、うち集中のピークを維持できるのが15分と言われています。具体的には、小学校低学年は15分程度、小学校高学年は25分程度ともいわれています。もちろんこれはトレーニングによって伸ばすこともできますが、こうした特性を捉えた上で、学習内容（プログラム）を効果的に考えた方が望ましいでしょう。

例えば、勉強開始時のまだペースに乗り切れない時間帯には漢字の書き取り、音読、計算練習など機械的な内容を、中盤の集中力が高まった所で文章題や読み取りなどの問題を、後半には自分の好きな本の読書というように、学習内容を工夫することも、一つの方法です。

5　親も子もいっしょに学習しましょう

子供は学習＝親が隣でゲーム、スマホ・・・これはやめましょう。せめて、子供は漢字ドリル＝親はペン習字 or 読書、子供は計算＝親は家計簿あたりでいかがでしょう。

要は「親もいっしょに学習しているのだよ。大人だって勉強するのだから」感が出ていることが大切です。隣に座って、じっと学習の様子を見ているだけでも効果大です。分からない所があってつまずいていたら、そっとヒントを与えてあげましょう。

6　家の手伝いをさせよう

風呂洗い、食器の片付け、買い物等々、何でも良いです。家庭の中での家族の一員としての役割を与え、それをしっかりと果たさせましょう。多少、忘れてしまったり、抜けてしまったりしても、けしていらいらしないこと。子供に任せたのだから、最後まで任せましょう。長い目で見て、できたことはできたと伝え、また足りなかった所はどうすればよかったのかを助言し、その仕事振りを評価してあげてください。

7　Face to Faceで会話する

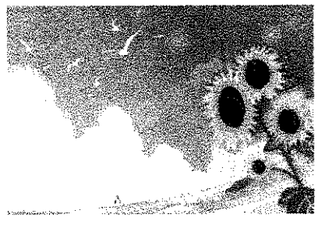
「目を見て話を聞く」時間って、普段はなかなか取れないものです。この夏休みの機会を利用して、子供たちの目を見て、ご家庭の方々と会話をする機会を、ぜひ増やしてください。もしかしたら小学校の今の時期ぐらいかもしれません。大切な時間にしてください。

8　我慢をさせる

子供の教育で重要なのは「自制心」＝我慢をする心、を養うことです。「面倒でも身の回りの整理整頓をさせる」「嫌でも今、学習をやらせる」「他にすることあっても約束の時間は守らせる」など、いろいろ考えられます。一方、子供の可愛さばかりに気をとられ、しつけが後回しになってしまうと、あとで取り返しのつかないことになります。小さい頃はまだ我慢を強いることができます。でも我慢する経験が少ないまま、中学生や高校生、大人と成長をしていくと、いわゆる「我慢のできない人」になってしまいます。だからこそ今、ほんの「小さな我慢」の経験を子供たちに繰り返しさせて、「耐性＝耐える力」を育ててあげることが大切です。それを身近にやってあげられるのは、親しかいません。

9　あいさつ・返事・くつ揃え

「あいさつ・返事・くつ揃え」を親子で実践しましょう。朝は「おはよう」、感謝の気持ちを伝える「ありがとう」、大人でも子供でも「ごめんなさい」、呼ばれたら「はい」と返事をすること等々、素直な心を育てることは、知力を伸ばすための大切な手立ての一つです。出かけてから家に帰った時、自分のくつをサッとと揃えるだけで、家族みんなが気持ち良く生活できます。そんな当たり前のことを当たり前にできる子育てをめざしましょう。



それでは素敵な夏休みを！！

9月の予定

7月20日現在

月	火	水	木	金	土
		1 夏休み明け集会 給食あり	2	3 委員会活動 身体計測(1・2年)	4
6	7 定着度テスト(国) 身体計測(3・4年) 都調査(4年)	8 定着度テスト(算) 身体計測(5・6年) 都調査(5年) 放課後学習教室 スポーツゴーゴー	9 7色フレンズ 班顔合わせ 都調査(6年)	10 クラブ活動 安全指導	11 土曜授業 道徳授業地区公開講座 (公開の可否は未定です)
13	14	15 4時間授業	16 7色フレンズ 班遊び	17 委員会活動 クラブ活動	18
20 敬老の日	21 交通安全教室(1・3・4年)	22 避難訓練 4時間授業	23 秋分の日	24 委員会活動	25
27 保護者会(1～3年) 5時間授業(3年)	28 保護者会(4～6年) 5時間授業(4～6年)	29	30	1 都民の日 足立区民の日 (休校日)	2 足立区まつり

新型コロナウィルスの感染状況により、予定は変更される可能性があります。
9月1日に発行される9月号をご参照ください。